

中河内地区

日時 2月1日(水) 14:00~16:30

会場 東大阪市教育センター

演技・ワークショップ

「つくるプロセスから『自分で答えをつくる』ことを学ぶ」

講師 吉田田タカシ 先生

([アトリエ e.f.t.] 主宰)

<準備物> 筆記用具・色鉛筆・画用紙・絵画が印刷された用紙・のり



今年度は教育者、ミュージシャン、デザイナー、芸術家、クリエイティブディレクターなど幅広く活躍されているアーティスト、[アトリエ e.f.t.] 主宰の吉田田タカシ先生を講師にお招きし、ワークショップの名画の外側を想像して描く「フレームアウト」の講習を行いました。

1. はじめに(講義)

吉田田先生の出張ダダラジオを聞かせて頂きました。グッドデザインアワード 2022 にてグッドデザイン大賞を受賞したまほうの다가しやチロル堂の仕組みや、トーキョーコーヒー(登校拒否のアナグラム)をデザインした際のお話では、子どもが安心するには大人が安心しないといけないとお話しされていました。吉田田先生のお話は学校教育での大切な視点を再認識できる時間でした。

2. 実技、ワークショップ ・フレームアウト

B6 サイズ程に縮小された絵画
4 種類（モナリザ、日傘をさす女
性、叫び、夜のカフェテラス）の中
から 1 枚選び、四つ切画用紙の好
きな位置にのりで貼り付け、名画
の外側を想像して色鉛筆で描きま



した。理科室には吉田田先生の選んだ音楽が流れ、楽しい雰囲気になりました。制作が始まると時間が短く感じ、あっという間の1時間でした。

最後に完成した作品は参加者で鑑賞し合い、個性的な発想に驚いたり感心したりしていました。用紙のサイズや絵画の種類、使用する画材など児童生徒に合わせてアレンジし、実践できるワークショップと感じました。

今回の研修の中に「作るを通して、生きるを学ぶ」と教えて頂きました。美術科の特性として今後の授業に反映していきたいと感じる素晴らしい実技研修でした。

